

第3分科会 人権教育にかかる効果的な教職員研修の在り方 ～人権課題を自分事として捉えるために～

大阪府教育センター 教育企画部 人権教育研究室

各学校園において人権教育を進める際には、まずは教職員自身が人権教育や個別の人権課題を深く理解し、自分事として捉えることが必要になります。そのためには、どのような教職員研修が効果的なのでしょうか？ 本分科会では、講師の沖本様より、教職員研修を実施する上で大切にしたいポイントを提示していただきながら、参加者の皆さんと一緒に考えていきます。また、今年度、大阪府教育センターが作成する研修パッケージの試作版を体験し、改善に向けたアイデアを共有する時間も設けます。

主な対象は、管理職、人権教育担当者、指導主事等を想定しておりますが、人権教育に関心のある方であれば、どなたでも是非御参加ください。

報告 調査・研究の中間報告

講演 子ども主体の学校づくりー安心から行動へー
沖本 和子（大阪多様性教育ネットワーク 共同代表）

参加者のアンケートより

- ・教職員研修をファシリテーションしていく観点について、整理することができました。研修の中で、語り合い、受け止め合う場をつくっていくことを大事にしたいと思いました。
- ・安心安全の場をつくっていただけた感じがして、他の参加者の方々と一緒に自己開示して、いろいろ有意義なお話をすることができました。
- ・とても元気をもらえる内容でした。あたたかく優しい沖本先生の言葉を聴くと、自分もそうありたい、こんな気持ち、優しさで子どもたちや周りの先生方と関わりたい、つながりたいと思いました。